



## 香煌祭 数コミ企画

9月6日(土)香煌祭2日目の一般公開で、2年生を中心に、数コミ3学年合同の数コミ企画「数コミスイッチ」を披露しました。

### 数コミ企画 準備

今年度の数コミ企画は、①数コミスイッチ班、②体験ブース班、③呼び込み・装飾班に分かれて活動しました。「数コミスイッチ」は、今年で3年目になる増田桐箱店との産学連携企画です。3月から何度も打合せを重ね、生徒の設計図をもとに木材を提供していただきました。本当にありがとうございました。

数コミ全体では6月の数コミ集会からそれぞれの班に分かれ、学年を超えて交流しながら準備を進めました。中心になった2年生は夏休みも学校に来て、ギミックごとに地道に作業を進めていた姿が印象的でした。



### 当日 数コミスイッチ

産学連携「数コミスイッチ」は、生徒のアイデアと探究力で、年々進化をしています。3年目となる今年は、これまでの木材やアクリル等の材料に加えて電気を利用したギミックが初登場しました。ビー玉が進むことで、導線がつながる仕組みです。ラストギミックではモーターを使って紙飛行機を飛ばしたり、ライトがついたり、今年もアイデアいっぱいの数コミスイッチが仕上がりました。

当日は、桐を提供して下さった増田桐箱店の方にも見ていただき、来年も産学連携が継続することになりました。今後の数コミスイッチにもどうぞご期待ください。



増田桐箱店藤井社長と  
数コミスイッチのリーダー



## 体験ブース 当日

体験ブースでは、桐の手触りの良さや軽さなど、その特性を来場者の皆様に体験していただくために、桐で作った「理系すごろく」「桐のモチーフで作るオリジナル飾り」「パズル」などを用意しました。今回は、小さなお子様にも喜んでいただけるように、キャラクター風のパズルを用意したり、イラストが得意な数コミ生が小さなお子様にも手が届きやすいように低い位置におみやげを準備したりしました。また入口の「数コミワールド」の看板にもミニ数コミスイッチを作成して、来場者の方に実際にビー玉を転がして、ギミックを体験していただきました。数コミ生のアイデアと桐の風合いを楽しんでいただけたなら幸いです。

当日は、たくさんの方にご来場いただき、本当にありがとうございました。



# 香煌祭後 数コミ集会

香煌祭終了後は、来年度のために丁寧に片付け、毎年恒例「数コミ集会」を行いました。リーダーたちが挨拶をし、記念撮影をしました。また、香煌祭実行委員長や実行委員の数コミ生にも拍手を送り、互いの労を労い合いました。学年を超えた繋がりをこれからも大切にしていきます。



## スーパーコンピュータ「富岳」2025 体験塾

8月28日(木)29日(金)に一般財団法人 高度情報科学技術研究機構 (RIST) 主催、九州大学伊都キャンパスで行われた“スーパーコンピュータ「富岳」2025 体験塾”に5名の数コミ生が参加しました。参加者のレポートです。

富岳の体験では、会場である九州大学から神戸にある富岳にネットで接続し、反発を実装した球を用いた分子モデルなど、富岳の性能を活かしたシミュレーションを行いました。プログラミングの体験では、課題がかなり難しく、一筋縄ではいかなかったです。太陽の周りを回る地球の運動を1日ごと(=36400秒)に計算し、運動をプログラムし、それをgif画像に変換しました。地球のモデルがうまく回っている様子を見ると、まるで積分の難問がうまく解けたときのような感動を覚えました。その画像はいつでも見ることができるので、当時の感動をいつでも思い出せることを嬉しく思います。

3年吉武拓人 (箱崎清松中出身)